

\* 「高校数学の美しい物語：数学と物理におけるギリシャ文字の使い方一覧」を参考にしています。

- ・「ギリシャ文字」は数式の変数において主に斜体（イタリック体）で用いられます。
- ・「ラテン文字」と混同されそうなギリシャ文字は数式ではあまり使われません。
- ・「Ω（オメガ）」より下は旧字のギリシャ文字です。ディガンマ関数  $\Gamma$  の由来のために敢えて旧字を添えました。

2018/6/6 山田 泰司 <taiji@aihara.co.jp>

## 数学・物理におけるギリシャ文字と主な用途

ギリシャ文字	斜体	大文字	斜体	読み/スペル	主な用途	ラテン文字	斜体	大文字	斜体
$\alpha$	$\alpha$	A	$A$	アルファ/alpha	汎用的な定数や変数#1, 方程式の解, アルファ線	a	$a$	A	$A$
$\beta$	$\beta$	B	$B$	ベータ/beta	汎用的な定数や変数#2, 方程式の解, ベータ線, ベータ関数	b	$b$	B	$B$
$\gamma$	$\gamma$	$\Gamma$	$\Gamma$	ガンマ/gamma	汎用的な定数や変数#3, 比熱比, オイラー定数, ガンマ線	g	$g$	G	$G$
$\Gamma$	$\Gamma$	-	-	ガンマ (大文字) /Gamma	ガンマ関数, $\Gamma$	-	-	-	-
$\delta$	$\delta$	$\Delta$	$\Delta$	デルタ/delta	ディラックのデルタ関数, クロネッカーのデルタ, 微小量	d	$d$	D	$D$
$\Delta$	$\Delta$	-	-	デルタ (大文字) /Delta	対称差 (集合論), 差分作用素, ラプラシアン, 行列式	-	-	-	-
$\varepsilon$	$\varepsilon$	E	$E$	イプシロン/varepsilon	微小量, 誘電率 (電磁気学), エディントンのイプシロン (テンソル), ひずみ	e	$e$	E	$E$
$\epsilon$	$\epsilon$	〃	〃	イプシロン (異体字) /epsilon	〃 (*数式ではこちらが正字)	〃	〃	〃	〃
$\zeta$	$\zeta$	Z	$Z$	ゼータ/zeta	1 の $n$ 乗根, リーマン・ゼータ関数 (解析学)	z	$z$	Z	$Z$
$\eta$	$\eta$	H	$H$	イータ/eta	汎用的な変数, イータ関数 (解析学)	$\bar{e}$	$\bar{e}$	$\bar{E}$	$\bar{E}$
$\theta$	$\theta$	$\Theta$	$\Theta$	シータ/theta	角度, テータ関数 (解析学)	th	$th$	TH	$TH$
$\vartheta$	$\vartheta$	〃	〃	シータ (異体字) /vartheta	〃	〃	〃	〃	〃
$\Theta$	$\Theta$	-	-	シータ (大文字) /Theta	ランダウの記号	-	-	-	-
$\Theta$	$\Theta$	-	-	シータ (大文字の異体字)	〃	-	-	-	-
$\iota$	$\iota$	I	$I$	イオタ/iota	虚数単位 $i$ の代わりに稀に使われる	i	$i$	I	$I$
$\kappa$	$\kappa$	K	$K$	カッパ/kappa	曲率	k	$k$	K	$K$
$\varkappa$	$\varkappa$	〃	〃	カッパ (異体字)	稀に使用 (*ラテン文字 $x$ と似ているので注意)	-	-	-	-
$\lambda$	$\lambda$	$\Lambda$	$\Lambda$	ラムダ/lambda	波長, 固有値 (線形代数)	l	$l$	L	$L$
$\Lambda$	$\Lambda$	-	-	ラムダ (大文字) /Lambda	添字集合 (集合論), 宇宙定数	-	-	-	-
$\mu$	$\mu$	M	$M$	ミュー/mu	摩擦係数, 透磁率, マイクロ (単位の $10^{-6}$ ), 平均 (統計学)	m	$m$	M	$M$
$\nu$	$\nu$	N	$N$	ニュー/nu	振動数 (*ラテン文字 $v$ と混同しやすいので注意)	n	$n$	N	$N$
$\xi$	$\xi$	$\Xi$	$\Xi$	グザイ/xi	汎用的な変数	x	$x$	X	$X$
$\Xi$	$\Xi$	-	-	グザイ (大文字) /Xi	大分配関数 (統計力学)	-	-	-	-
$\omicron$	$\omicron$	O	$O$	オミクロン/omicron	ランダウの記号	o	$o$	O	$O$
$\pi$	$\pi$	$\Pi$	$\Pi$	パイ/pi	円周率, 素数計数関数	p	$p$	P	$P$
$\varpi$	$\varpi$	〃	〃	パイ (異体字) /varpi, ポメガ	角周波数 (流体力学)	〃	〃	〃	〃
$\Pi$	$\Pi$	-	-	パイ (大文字) /Pi	積の記号	-	-	-	-

ギリシャ文字	斜体	大文字	斜体	読み/スペル	主な用途	ラテン文字	斜体	大文字	斜体
$\rho$	$\rho$	P	$P$	ロー/rho	密度, 相関係数	r	$r$	R	$R$
$\varrho$	$\varrho$	〃	〃	ロー (異体字) /varrho	〃 (* $p, \rho$ と区別するため異体字が使われることも)	〃	〃	〃	〃
$\sigma$	$\sigma$	$\Sigma$	$\Sigma$	シグマ/sigma	面密度, 置換, 標準偏差 (統計学), 応力	s	$s$	S	$S$
$\varsigma$	$\varsigma$	〃	〃	シグマ (異体字) /varsigma	〃 (*使用は稀)	〃	〃	〃	〃
$\Sigma$	$\Sigma$	-	-	シグマ (大文字) /Sigma	総和の記号	-	-	-	-
$\tau$	$\tau$	T	$T$	タウ/tau	時刻や時間を表す変数, 時定数, 置換, 振率	t	$t$	T	$T$
$\upsilon$	$\upsilon$	Y	$Y$	ウプシロン/upsilon	稀に使用 (*ラテン文字vと混同しやすいので注意)	u	$u$	U	$U$
$\Upsilon$	$\Upsilon$	-	-	ウプシロン (大文字の異体字) /Upsilon	ウプシロン中間子 (* $r, \gamma$ と混同しやすいので注意)	〃	〃	〃	〃
$\varphi$	$\varphi$	$\Phi$	$\Phi$	ファイ/varphi	角度, 特性関数 (確率論), 黄金比, オイラーのファイ関数, 波動関数 (量子力学)	ph	$ph$	PH	$PH$
$\phi$	$\phi$	〃	〃	ファイ (異体字) /phi	〃 (*数式ではこちらが正字)	〃	〃	〃	〃
$\Phi$	$\Phi$	-	-	ファイ (大文字)	波動関数 (量子力学), 磁束 (電磁気学)	-	-	-	-
$\chi$	$\chi$	X	$X$	カイ/chi	カイニ乗分布 (統計)	ch	$ch$	CH	$CH$
$\psi$	$\psi$	$\Psi$	$\Psi$	プサイ/psi	波動関数 (量子力学)	ps	$ps$	PS	$PS$
$\Psi$	$\Psi$	-	-	プサイ (大文字) /Psi	波動関数 (量子力学)	-	-	-	-
$\omega$	$\omega$	$\Omega$	$\Omega$	オメガ/omega	角速度, 事象, 1のn乗根	$\omega$	$\omega$	$\Omega$	$\Omega$
$\Omega$	$\Omega$	-	-	オメガ (大文字) /Omega	抵抗の単位オーム (電磁気学)	-	-	-	-
$\text{h}$	$\text{h}$	H	H	ヘータ/heta	(*使用は稀)	h	$h$	H	$H$
$\varrho$	$\varrho$	Q	Q	アルカイックコッパ/archaickoppa	(*使用は稀)	q	$q$	Q	$Q$
$\varsigma$	$\varsigma$	C	C	スティグマ/stigma	(*使用は稀)	-	-	-	-
$\text{F}$	$\text{F}$	F	F	ディガンマ/digamma	ディガンマ関数 (解析学) (*ラテン文字Fで代用)	f	$f$	F	$F$
$\text{N}$	$\text{N}$	N	N	パンフィリアンディガンマ /pamphyliandigamma	(*使用は稀)	-	-	-	-
$\text{k}$	$\text{k}$	k	k	コッパ/koppa	(*使用は稀)	-	-	-	-
$\text{s}$	$\text{s}$	s	s	サンピ/sampi, ディシグマ	(*使用は稀)	-	-	-	-
$\text{c}$	$\text{c}$	C	C	ルネイトシグマ/lunatesigma	(*使用は稀)	-	-	-	-
$\text{j}$	$\text{j}$	-	-	ヨット/yot	(*ラテン文字でj代用) (*ギリシャ文字ではないが文字コードには存在)	j	$j$	-	-
$\text{p}$	$\text{p}$	P	P	ショー/sho	(*使用は稀)	-	-	-	-
$\text{M}$	$\text{M}$	M	M	サン/san	(*使用は稀)	-	-	-	-